



日出谷小だより

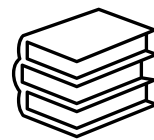
学校教育目標【明日をつくる日出谷の子】

「学校で教えてもらってない！」

校長 須田 肇

テレビ等で大人が、「学校で教えられなかった（から分からなかった・知らなかった）」という言葉を目にすることはないでしょうか？演出上の驚きを表現するセリフでしょうが、少しこの言葉が学校関係者として引っかかるのです。「教えてもらっていないのでわからない」のはそのとおりなのですが、教わっていないことはわからなくてもいいと信じてしまう子供がいないかと心配してしまうのです。また「そんなことは聞いていない、知らない」「そんな決まりは知らない」「みんながやっていたから（理由はわからない）」「今までうちではこうやってきたのだから」といった声も多く聞かれます。

私の捉え方の問題かもしれませんが、「わからないことや知らないことは、誰かが教えてくれなかったから」とか、「自分が知らないことを言い分にして、相手に非があるかのように振る舞う」風潮は問題だと感じています。



私は毎年この時期に子供たちに「なぜ、みんなは勉強するの？」と言って子供たちに考えてもらいます。その質問に対して子供たちは真剣に考えてくれます。勉強する理由は考えてくれた数だけあります。

私は小学生には勉強する理由として、「自分の考えをもてる人になるため」、「生活に必要で、より豊かにするため」、「自分の問題を解決していける人になるため」、「人間は新しい知識を知りたい・知ってうれしいという欲求をもっているため」、そして、「多様な意見を理解し、よりよい意見にしていくため」、「気持ちのよい人間関係を作ることのできる人になるため」だということを話しています。

世の中には、学校で教えきれない多くの事象や考え方があります。しかし、それらを自分の力で見つけ出し理解する学び方も学校で学んでいます。子供たちが、様々なことに興味をもち、身に付けた力をもとに「知らないことは知ってやろう」、「どうすれば分かるかな」と考えられるよう、日々の教育に取り組んでいます。

11月18（火） 校内持久走大会の健康観察・参加署名を忘れずに

11月18日（火）（予備日19日）に、校内持久走大会を実施します。子供たちは自分の目標を決め、体力向上のため練習を始めます。

実施上、「当日の体温・健康観察チェック」、「参加許可署名」、「健康観察用紙」の忘れが大きな問題となっています。頑張ってきた子を走らせたいという思いは学級担任にもありますが、これがないと安全上走らせることができません。学校でも忘れないように連絡をしますので、ご家庭でも忘れないように確実なご対応とご確認をお願いします。

どうぞ、忘れて悲しい思いをする子供がいませんよう、ご協力をお願いします。

